

# 第19回 ジャパンオープンハンドボールトーナメント 戦評報告書

競技日	平成26年 8月10日	試合番号	B-1
種別・回戦	男子・2回戦	会場	和歌山県立体育館

えいちしわかやま HC和歌山			ふおつぐ FOG			得点チェック欄	
22	11	前半	11	24	前半	<input checked="" type="checkbox"/>	
	11	後半	13		後半	<input checked="" type="checkbox"/>	
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>	
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 後半			合計点	<input checked="" type="checkbox"/>	
		7mTC			記録主任確認	<input checked="" type="checkbox"/>	

戦評	戦評委員氏名	中岸 速人
<p>開始1分、13番小川のミドルシュートが決まりFOGが先制点を奪い、勢いをつける。対するHC和歌山はクイックスタートからの得点や11番安松の速攻で対抗する。12分FOG10番に警告、ここから徐々にHC和歌山に流れが傾きかけたと思われたが、FOGもオープンディフェンスからの速攻で応戦。両者互いに譲らず、激しい攻防の末11対11の同点で前半を終える。後半はHC和歌山の得点から始まる。FOGは素早いパス回しから3番佐藤のミドルシュート、2番小川のポストシュートと連続得点でペースを掴んでいく。HC和歌山もクイックスタートからの攻撃を試みチャンスを作るが、相手ゴールキーパー田中の好セービングに思うように得点が上がらない。後半14分HC和歌山10番が退場になり、少しずつ流れがFOGに傾き始める。後半20分、21対16でFOGがリード。ここからHC和歌山もオープンディフェンスに変え、流れを引きよせようと反撃する。後半27分に2点差までに迫ったが、ゴールキーパー田中を中心とした粘り強い守りのFOGの前に力尽きた。</p>		

送信担当記録委員	北井 恵子
----------	-------